

コンクリート下地用プライマー リフレトリート

リフレトリートとは

リフレトリートはアクリル樹脂を用いたポリマーディスページョンです。ポリマー粒子が0.2 μ 以下と小さく下地コンクリートに浸透し、吸水防止作用、接着増強作用に優れます。

リフレトリートの用途

断面修復材のプライマー

リフレトリートの特長

- ▶ モルタルの接着力を安定させる。
- ▶ 塗布追っかけ工法が可能。
- ▶ 優れた吸水防止効果。
- ▶ 低温(5℃)でも安定した付着強度。



荷姿：16kg缶入り

※使用上の注意事項/事前に缶をよく振ってから使用して下さい。
荷姿は製造の都合等により予告無く変更する場合がありますので予めご了承下さい。

標準塗布量	100~200g/m ²
-------	-------------------------

物性値の一例

低温(5℃)での断面修復材付着強度

	材 齢	7 日	28日
リフレトリート 塗布	付着強度	1.95N/mm ²	2.32N/mm ²
	破断面	コンクリート基材 100%	コンクリート基材 100%
水湿し	付着強度	1.51N/mm ²	1.58N/mm ²
	破断面	施工界面100%	施工界面100%

※上記のデータは代表値であり、品質保証値ではありません。

試験方法

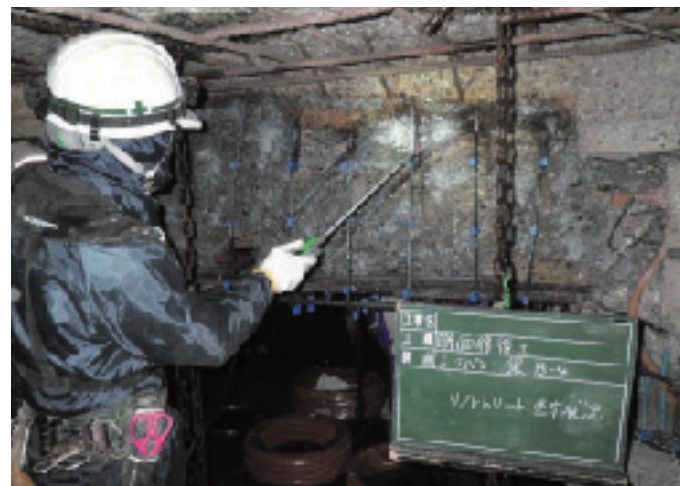
5℃, 80%RHにおいて、打設方向が天井面となるように設置したコンクリート歩道版にリフレトリートを塗布量が120g/m²となるように塗布し、打ち継ぎ時間を3hrで、リフレモルセットSP(ポリマーセメント系断面修復材)を左官工法により打設した。

5℃, 80%RHにおいて養生を続け、材齢7日および28日において付着強度を測定した。

リフレトリートの施工方法

- ▶ 1.下地コンクリートの浮き、脆弱部、レイトンス、ゴミ、ホコリ、油類などを除去し、丁寧に水洗いして下さい。
- ▶ 2.水洗いが不可能な場合はプロアー等を用い丁寧に清掃して下さい。
- ▶ 3.下地表面が乾燥していることを確認し、120g/m²を目安に刷毛、ローラー、スプレー等で塗布して下さい。
- ▶ 4.プライマー塗装後、表面の指触乾燥を確認しモルタル等の施工を行って下さい。

施工状況



⚠️ 取り扱い上の注意

- 使用するときには、目、皮膚および衣類に直接触れないように、保護眼鏡、保護手袋等の保護具を着用して下さい。
- 取扱い後は、手、顔等を良く洗って下さい。
- 温度に注意して保管して下さい。3℃以下、40℃以上にならないように保管して下さい。
- 酸性物質、酸化性物質、アンモニウム塩に注意し、近くに置いたり、混合したりすることのないようにして下さい。
- 容器を転倒させたり、落下させたり等、乱暴に取扱わないで下さい。

【応急措置】

- ・目に入った場合：直ちに清浄な水で15分以上洗浄し、眼科医の診察を受けて下さい。
- ・皮膚に付着した場合：直ちに大量の流水で洗浄して下さい。
- ・誤飲した場合：多量の水またはミルクを飲ませて吐かせ、直ちに医師の診察を受けて下さい。

【廃棄上の注意】

- ・セメントと混ぜて、硬化した後に処分して下さい。
- ・大量に処分するときは廃棄物処理業者に委託処理して下さい。

【漏出時の注意】

- ・多量に流出した場合は、毛布、土のう等を用いてせき止め、バキューム等で汲み上げたり硫酸バンド等の凝集剤を散布して凝固させ、回収後焼却処理して下さい。少量の場合でも水に流さずボロキレ等で拭き取り、焼却処理して下さい。

使用および取扱いの前に、当製品の安全データシート (SDS) をお読みください。
本カタログの記載内容については、予告無しに変更する場合がありますので、予め御了承願います。

住友大阪セメント株式会社 建材事業部

東京 〒102-8465 東京都千代田区六番町6番地28
大阪 〒530-0004 大阪市北区堂島浜1-4-4(アクア堂島東館15F)
札幌支店 〒060-0003 札幌市中央区北3条西2丁目(札幌HSビル10F)
東北支店 〒980-6003 仙台市青葉区中央4-6-1(住友生命仙台中央ビル(SS30)3F)
北陸支店 〒920-0849 金沢市堀川新町2-1(井門金沢ビル7F)
名古屋支店 〒450-0003 名古屋市中村区名駅南2-14-19(住友生命名古屋ビル3F)
四国支店 〒760-0033 高松市丸の内4-4(四国通商ビル6F)
広島支店 〒732-0827 広島市南区稲荷町4-1(住友生命広島ビル7F)
福岡支店 〒812-0011 福岡市博多区博多駅前1-2-5(紙与博多ビル8F)

電話 03(5211)4752 Fax 03(3221)5624
電話 06(6342)7704 Fax 06(6342)7708
電話 011(241)3901 Fax 011(221)1017
電話 022(225)5251 Fax 022(266)2516
電話 076(223)1505 Fax 076(223)0193
電話 052(566)3202 Fax 052(566)3273
電話 087(851)6330 Fax 087(822)6870
電話 082(577)7645 Fax 082(577)7646
電話 092(481)0186 Fax 092(471)0530

本製品に関するお問い合わせ・ご用命は